製品名: C8 β ウサギポリクローナル抗体
カタログ番号: APRab07758
研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	人間、ネズミ
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20℃で保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:10000-1:20000
分子量	70kDa

抗原情報

遺伝子名	C8B
別名	Complement component C8 beta chain (Complement component 8 subunit beta)
遺伝子 ID	732.0
SwissProt ID	P07358
免疫原	抗血清はヒト C8B の内部領域由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲：371-420

背景

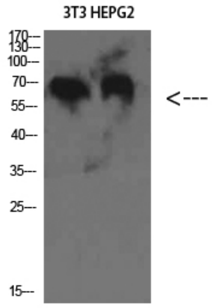
この遺伝子は、補体成分 8（C8）タンパク質の 3 つのサブユニットのうちの 1 つをコードしています。C8 は、3 つの別々の遺伝子によってコードされる等モル量の α、β、γ サブユニットで構成されています。C8 は、細胞溶解を媒介し、複合体の膜貫通を開始する膜

侵襲複合体の 1 つの成分です。このタンパク質は、C8 と C5b-7 膜侵襲複合体前駆体との相互作用を媒介します。ヒトでは、このタンパク質の欠損は髄膜炎菌感染症のリスク増加と関連しています。選択的スプライシングにより、複数の転写バリアントが生じます。[RefSeq 提供、2013 年 6 月],疾患：C8B の欠陥は、補体 C8 欠損症 II 型[MIM:120960]の原因です。C8 欠損患者は、主に髄膜炎菌による反復性細菌感染症に苦しみます。,機能：C8 は膜侵襲複合体の構成要素です。 C8 は C5b-7 複合体に結合し、C5b-8 複合体を形成する。C5-b8 は C9 に結合し、C9 の重合において触媒として作用する。,オンライン情報:C8B 変異 db,多型:示されている配列はアロタイプ C8B B のものである。,PTM:N-グリコシル化されており、1 つまたは 2 つの結合したグリカンを含む。O-グリコシル化されていない。,類似性:補体 C6/C7/C8/C9 ファミリーに属します。,類似性:1 つの EGF 様ドメインを含みます。,類似性:1 つの LDL 受容体クラス A ドメインを含みます。,類似性:1 つの MACPF ドメインを含みます。,類似性:2 つの TSP タイプ 1 ドメインを含みます。,サブユニット:C8 は、アルファ、ベータ、ガンマの 3 つの鎖で構成されています。 β鎖は C8α 鎖と C5b-C7 複合体（おそらく C5b）に結合し、C8 を C5b-C8 複合体に組み込むために不可欠である。

研究分野

補体および凝固カスケード、プリオン病、全身性エリテマトーデス、

画像データ



3T3 HEPG2 細胞の C8 β ポリクローナル抗体（1:2000 希釈）を用いたウェスタンブロット解析。二次抗体は 1:20000 に希釈した。